



株式会社 **大気社**

この写真は大気社の拠点がある日本の世界遺産、清水寺です。

2022年3月期(2021年度)

決算説明資料

2022年5月19日

Copyright 2022 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

業績ハイライト

1. 2022年3月期の市場環境と業績
2. 2023年3月期業績の見通し

管理本部長の中島でございます。

これより、2022年3月期決算につきましてご説明します。

まず、2022年3月期の市場環境と業績、そして2023年3月期業績の見通しについてご説明します。

1 2022年3月期の市場環境と業績

市場環境

国内市場

電子部品、医薬品、自動車などのメーカーによる投資が好調であり、首都圏におけるオフィスビルの建設需要も堅調に推移。

海外市場

新型コロナウイルス感染症の影響による不透明感が依然続いており、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続いた。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場は電子部品、医薬品、自動車などのメーカーによる投資が好調であり、首都圏におけるオフィスビルの建設需要も堅調に推移しました。

海外市場では、新型コロナウイルス感染症の影響による不透明感が依然続いており、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続きました。

1 2022年3月期の市場環境と業績

連結業績

単位：億円

	実績 A	*修正予想 B	差異 A-B	期初予想 (参考)
受注工事高	2,321	2,300	21	2,440
完成工事高	2,092	2,050	42	2,180
経常利益	108	100	8	135
(同率)	5.2%	4.9%	0.3%	6.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	60	12	84
(同率)	3.5%	2.9%	0.5%	3.9%

* 第2四半期決算時に修正

- 受注工事高、完成工事高、経常利益において、経済の回復傾向や為替影響を背景に、第2四半期決算時に発表した通期業績の修正予想を上回った。
- 親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、経常利益増に加え、政策保有株式の売却を進めたことにより、修正予想を上回った。

このような状況のもと、受注工事高、完成工事高、経常利益において、経済の回復傾向や為替影響を背景に、第2四半期決算時に発表した通期業績の修正予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、経常利益増に加え、政策保有株式の売却を進めたことにより、修正予想を上回りました。

2 2023年3月期業績の見通し

業績予想

単位：億円

	2022.3 実績 A	2023.3 予想 B	差異 B-A
受注工事高	2,321	2,150	-171
完成工事高	2,092	2,125	32
経常利益	108	120	11
(同率)	5.2%	5.6%	0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	86	13
(同率)	3.5%	4.0%	0.6%

- 受注工事高は、Geico社の連結除外により全社で減少し、完成工事高は、Geico社の連結除外により減少するものの、環境システム事業で増加するため、全社では増加を見込む。
- 経常利益は、主に環境システム事業における完成工事高増により、増益となる見通し。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益増に加え、政策保有株式の売却により、増益となる見通し。

続いて、2023年3月期の通期業績予想についてご説明します。

受注工事高は、Geico社の連結除外により全社で減少し、完成工事高は、Geico社の連結除外により減少するものの、環境システム事業で増加するため、全社では増加を見込んでおります。

経常利益については、主に環境システム事業における完成工事高増により、増益となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益増に加え、政策保有株式の売却により、増益となる見通しです。



1. 2022年3月期（2021年度）決算説明

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ① 2022年3月期決算ハイライト | ④ 主な受注工事・完成工事・繰越工事 |
| ② 環境システム事業の業績 | ⑤ 2023年3月期業績予想 |
| ③ 塗装システム事業の業績 | ⑥ （参考）株主還元額と総還元性向の推移 |

1. 業績数値等は原則、連結ベースです。個別ベースの場合のみ、各ページのタイトルに（個別）と記載しています。
2. 業績数値等は原則、外部顧客に対する取引金額となっており、セグメント別の営業利益・経常利益についてのみ、内部取引高を含む数値となっております。業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づき推計した見込みです。
3. 経済動向、業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度の改正、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

当頁からは、2022年3月期の決算についてご説明します。

1. 2022年3月期（2021年度） 決算説明

1 2022年3月期決算ハイライト

1-①. 事業別受注工事高（前期比）

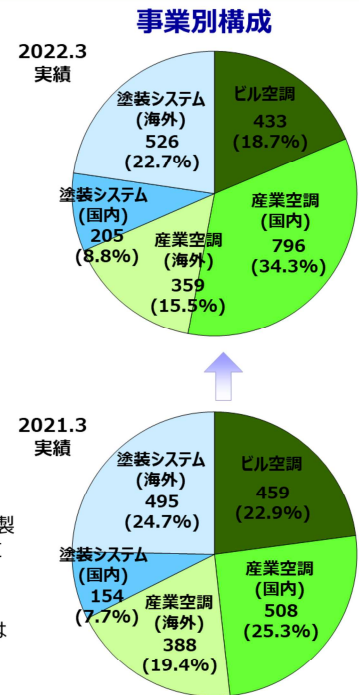
	2021.3	2022.3	増減
受注工事高	2,004	2,321	316
（うち国内）	(1,121)	(1,434)	(313)
（うち海外）	(883)	(886)	(3)
環境システム事業	1,355	1,589	233
ビル空調	459	433	-25
産業空調	896	1,155	259
（うち国内）	(508)	(796)	(288)
（うち海外）	(388)	(359)	(△28)
塗装システム事業	649	732	82
（うち国内）	(154)	(205)	(50)
（うち海外）	(495)	(526)	(31)

（環境システム事業）

- ・ビル空調分野は、市場環境は良好なものの、国内の産業空調分野の受注を優先した結果、減少。
- ・産業空調分野は、国内は世界的な半導体不足を背景に電気・電子分野で投資が加速しており、また製薬メーカーでも設備投資が旺盛であることから増加。海外では前期にタイで大型案件の受注があったことによる反動減により減少。

（塗装システム事業）

- ・国内海外ともに、前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による投資先送りがあったものの、今期は回復傾向にあり増加。



当頁は事業別の受注工事高を前期比でまとめています。

全社では316億円増加し、2,321億円となりました。

そのうち、環境システム事業に関しては、ビル空調分野において、市場環境は良好なものの、国内の産業空調分野の受注を優先した結果、減少しました。

国内の産業空調分野は、世界的な半導体不足を背景に電気・電子分野で投資が加速しており、また製薬メーカーでも設備投資が旺盛であることから増加しました。海外の産業空調分野は、前期にタイで大型案件の受注があったことによる反動減により減少しました。

塗装システム事業は、国内海外ともに、前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による投資先送りがあったものの、今期は回復傾向にあり増加しました。

1 2022年3月期決算ハイライト

1-②. 事業別受注工事高（予想比）

単位：億円

	実績 A	*修正予想 B	差異 A-B	期初予想 (参考)
受注工事高	2,321	2,300	21	2,440
(うち国内)	(1,434)	(1,475)	(△40)	(1,318)
(うち海外)	(886)	(825)	(61)	(1,122)
環境システム事業	1,589	1,570	19	1,710
ビル空調	433	460	-26	444
産業空調	1,155	1,110	45	1,266
(うち国内)	(796)	(788)	(8)	(740)
(うち海外)	(359)	(322)	(37)	(526)
塗装システム事業	732	730	2	730
(うち国内)	(205)	(227)	(△21)	(134)
(うち海外)	(526)	(503)	(23)	(596)

* 第2四半期決算時に修正

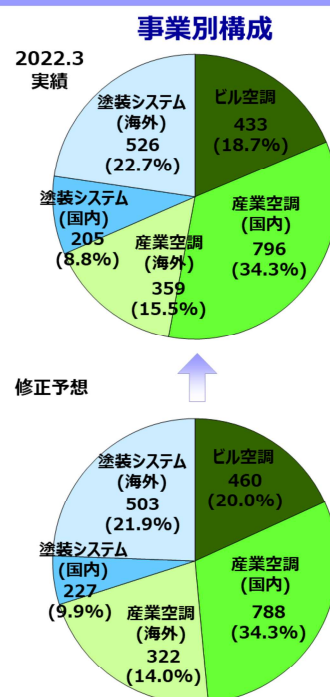
（環境システム事業）

・ビル空調分野は、市場環境は良好なものの、国内の産業空調分野の受注を優先した結果、修正予想を下回った。

・産業空調は、国内海外ともに想定以上の受注を確保できたため、修正予想を上回った。

（塗装システム事業）

・国内海外における差異はあるものの、全体として想定通りの受注を確保。



当頁は、同じく受注工事高について、予想比で示しております。

全社では、第2四半期決算時の修正予想を21億円上回りました。

そのうち、環境システム事業に関しては、ビル空調分野において、先ほど申し上げた通り、市場環境は良好なものの、国内の産業空調分野の受注を優先した結果、修正予想を下回りました。

産業空調分野は、国内海外ともに想定以上の受注を確保できたため、修正予想を上回りました。

塗装システム事業は、国内海外における差異はあるものの、全体として想定通りの受注を確保しました。

1 2022年3月期決算ハイライト

2-①. 事業別完成工事高（前期比）

単位：億円

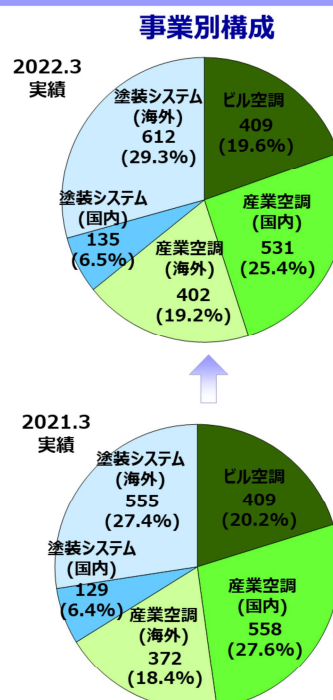
	2021.3	2022.3	増減
完成工事高	2,025	2,092	67
（うち国内）	（1,097）	（1,077）	（△20）
（うち海外）	（927）	（1,015）	（87）
環境システム事業	1,340	1,343	3
ビル空調	409	409	0
産業空調	930	934	3
（うち国内）	（558）	（531）	（△26）
（うち海外）	（372）	（402）	（29）
塗装システム事業	684	748	63
（うち国内）	（129）	（135）	（5）
（うち海外）	（555）	（612）	（57）

（環境システム事業）

- ・産業空調の国内は、前期に複数の大型案件が大きく進捗したため、反動減となった。
- ・産業空調の海外は、前期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による工期遅れが発生していたが、今期は同様の影響はほぼ無く、全体として増加。

（塗装システム事業）

- ・今期完工を迎えた大型案件が多く、国内海外ともに増加。



当頁は、事業別の完成工事高を前期比でまとめています。

全社では67億円増加し、2,092億円となりました。

そのうち、環境システム事業に関しては、国内の産業空調分野において、前期に複数の大型案件が大きく進捗したため、その反動減により減少したものの、海外では、前期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による工期遅れが発生していましたが、今期は同様の影響はほぼ無く、全体として増加しました。

塗装システム事業は、今期完工を迎えた大型案件が多く、国内海外ともに増加しました。

1 2022年3月期決算ハイライト

2-②. 事業別完成工事高（予想比）

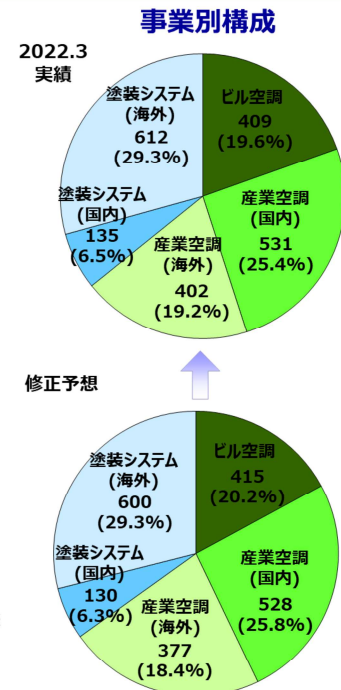
単位：億円

	実績 A	*修正予想 B	差異 A-B	期初予想 (参考)
完成工事高	2,092	2,050	42	2,180
(うち国内)	(1,077)	(1,073)	(4)	(1,063)
(うち海外)	(1,015)	(977)	(38)	(1,117)
環境システム事業	1,343	1,320	23	1,420
ビル空調	409	415	-5	373
産業空調	934	905	29	1,047
(うち国内)	(531)	(528)	(3)	(561)
(うち海外)	(402)	(377)	(25)	(486)
塗装システム事業	748	730	18	760
(うち国内)	(135)	(130)	(5)	(129)
(うち海外)	(612)	(600)	(12)	(631)

* 第2四半期決算時に修正

(環境システム事業・塗装システム事業)

・両事業ともに想定通りの完工高を確保したが、産業空調分野と塗装事業の海外において、為替影響により上振れ。



当頁は、同じく完成工事高を予想比で示しております。

全社では、第2四半期決算時の修正予想を42億円上回りました。

両事業ともに想定通りの完工高を確保しましたが、産業空調分野と塗装事業の海外において、為替影響により上振れました。

1 2022年3月期決算ハイライト

3-①. 事業別利益（前期比）

単位：億円

	2021.3	2022.3	増減
営業利益	116	94	-22
（同率）	5.8%	4.5%	-1.3%
環境システム事業	111	89	-21
（同率）	8.3%	6.7%	-1.6%
塗装システム事業	9	5	-3
（同率）	1.4%	0.8%	-0.6%
経常利益	122	108	-14
（同率）	6.1%	5.2%	-0.9%
環境システム事業	111	93	-18
（同率）	8.3%	6.9%	-1.4%
塗装システム事業	9	6	-2
（同率）	1.3%	0.9%	-0.4%

（環境システム事業）

・前期に比べて採算性の高い物件の比率が低下したことにより、減益。

（塗装システム事業）

・前期は競争激化に伴い、採算性の高い物件の比率が低下したことにより低水準だったが、今期はその影響は緩和されたものの、上期に発生した欧州プロジェクトの採算性悪化の影響により、減益。

当頁は、事業別利益を前期比でまとめています。

経常利益は全社ベースでは14億円減少し108億円となりました。

そのうち、環境システム事業においては、前期に比べて採算性の高い物件の比率が低下したことにより、減益となりました。

塗装システム事業は、前期は競争激化に伴い、採算性の高い物件の比率が低下したことにより低水準でしたが、今期はその影響は緩和されたものの、上期に発生した欧州プロジェクトの採算性悪化の影響により、減益となりました。

1 2022年3月期決算ハイライト

3-②. 事業別利益（予想比）

単位：億円

	実績 A	*修正予想 B	差異 A-B	期初予想 (参考)
営業利益	94	90	4	127
(同率)	4.5%	4.4%	0.1%	5.8%
環境システム事業	89	89	0	106
(同率)	6.7%	6.7%	-0.1%	7.5%
塗装システム事業	5	4	1	27
(同率)	0.8%	0.5%	0.2%	3.6%
経常利益	108	100	8	135
(同率)	5.2%	4.9%	0.3%	6.2%
環境システム事業	93	90	3	108
(同率)	6.9%	6.8%	0.1%	7.6%
塗装システム事業	6	6	0	27
(同率)	0.9%	0.8%	0.1%	3.6%

* 第2四半期決算時に修正

(環境システム事業・塗装システム事業)

・両事業とも想定通り着地したが、本社本部において、一般配当や為替差益の影響により予想を上回った。

当頁は、同じく利益について予想比で示しております。

経常利益については、全社では第2四半期決算時の修正予想を8億円上回りました。

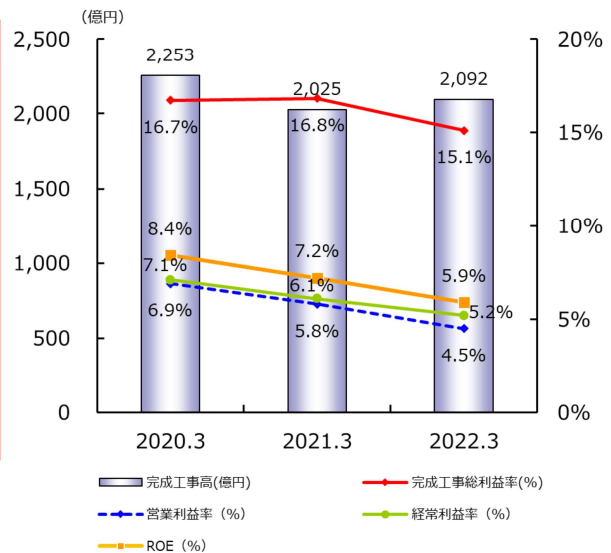
環境システム事業、塗装システム事業ともに想定通り着地しましたが、本社本部において、一般配当や為替差益の影響により、上振れました。

1 2022年3月期決算ハイライト

4. 損益計算書

単位：億円

	2020.3	2021.3	2022.3
完成工事高	2,253	2,025	2,092
完成工事総利益	376	340	316
(同率)	16.7%	16.8%	15.1%
販管費	222	223	221
(同率)	9.9%	11.0%	10.6%
営業利益	154	116	94
(同率)	6.9%	5.8%	4.5%
経常利益	159	122	108
(同率)	7.1%	6.1%	5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	82	72
(同率)	4.1%	4.1%	3.5%
ROE	8.4%	7.2%	5.9%

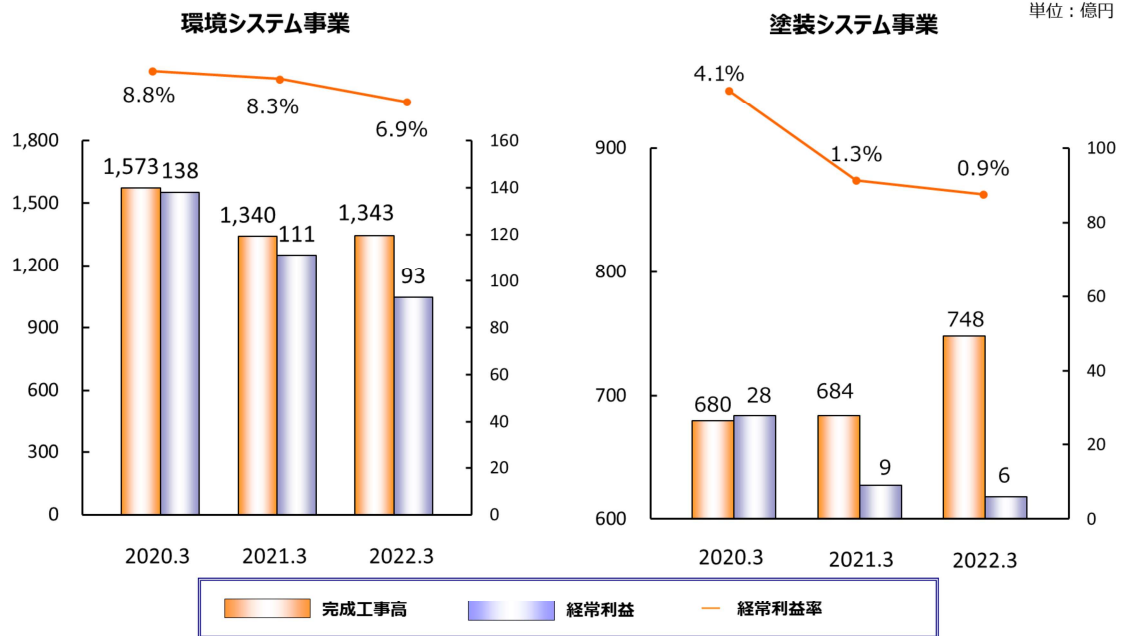


当頁は、3ヶ年の業績の推移を表しています。

親会社株主に帰属する当期純利益は、主に欧州プロジェクトの採算性悪化の影響により、前期から10億円減少し、72億円となりました。

1 2022年3月期決算ハイライト

5. 報告セグメントごとの完成工事高及び経常利益

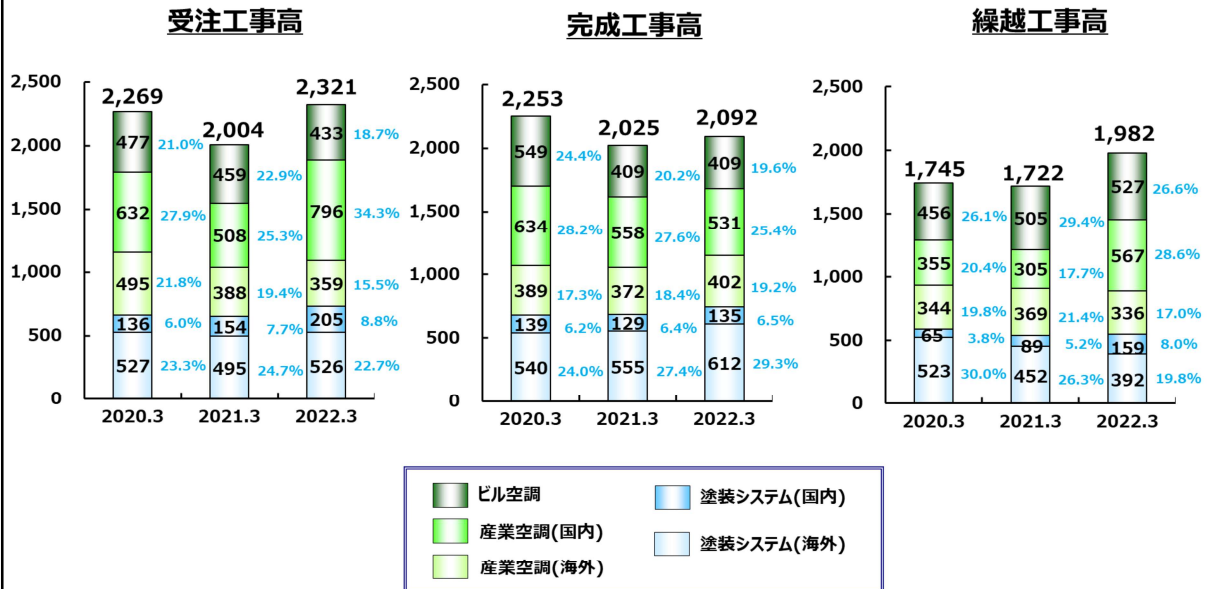


当頁は、先ほどご説明しました事業ごとの完成工事高、経常利益額の推移をグラフで示しております。ご参照ください。

1 2022年3月期決算ハイライト

6. 受注工事高／完成工事高／繰越工事高

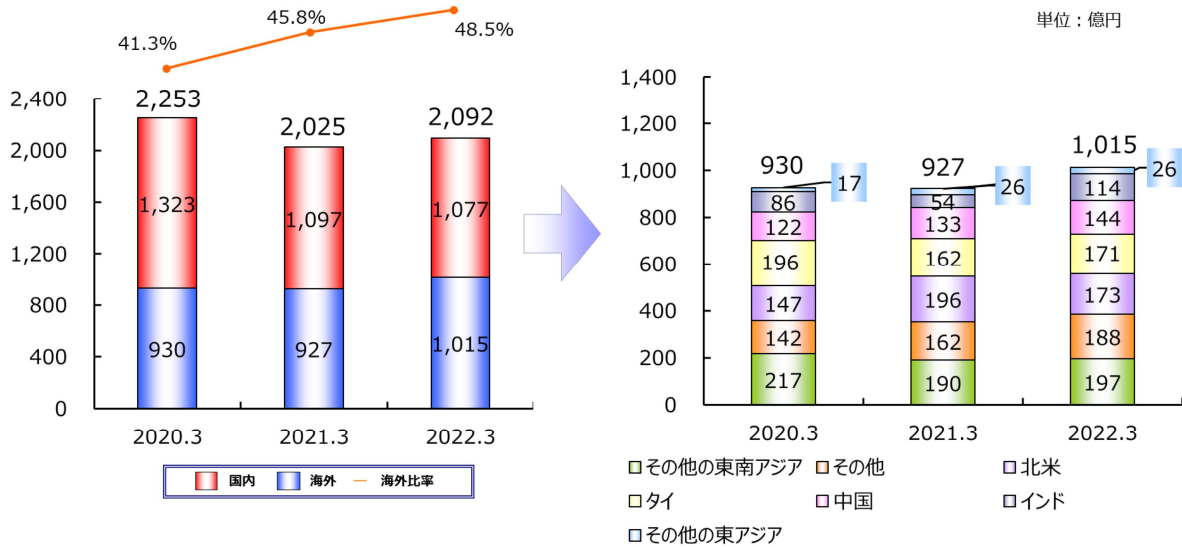
単位：億円



当頁は、受注工事高・完成工事高・繰越工事高の事業分野ごとの内訳と推移を示しております。

1 2022年3月期決算ハイライト

7. 海外完成工事高の推移(施工地別)



備考：当セグメントデータは、外部顧客への完成工事高のみの数値です。
 ●主な国または地域
 ・東南アジア - - シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他
 ・東アジア - - 台湾、韓国
 ・北米 - - アメリカ、カナダ、メキシコ
 ・その他地域 - - ロシア、南米、他

当頁は、海外の完成工事高の推移についてです。

左のグラフは国内海外の内訳と海外比率の推移を示しております。

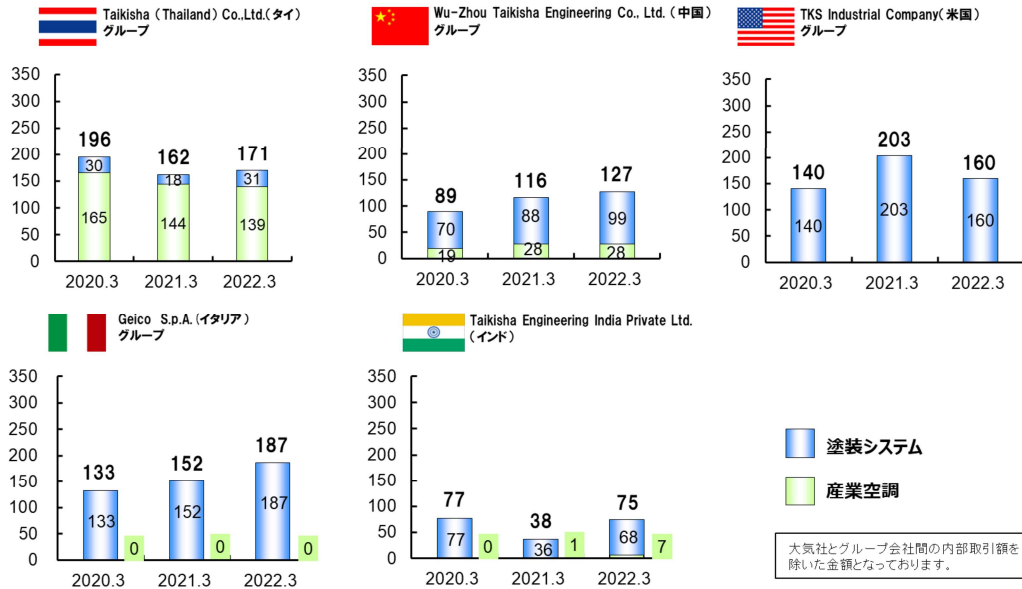
右のグラフは海外完成工事高の施工地別の内訳を示しております。

今期の完成工事高は、海外の増加に伴い、オレンジ色の折れ線で示す海外比率は、前期の45.8%より2.7ポイント上昇し、48.5%となりました。

1 2022年3月期決算ハイライト

8. 海外主要5社の完成工事高の推移

単位：億円



当頁は、海外主要5社の完成工事高の推移を示しております。

北米の子会社では、前期に大型物件の進捗があったことによる反動減がありました。イタリアのGeico社では、大型物件の進捗が順調に推移し、インドの子会社では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復が進み、増加しました。

1 2022年3月期決算ハイライト

9. 貸借対照表

単位：億円

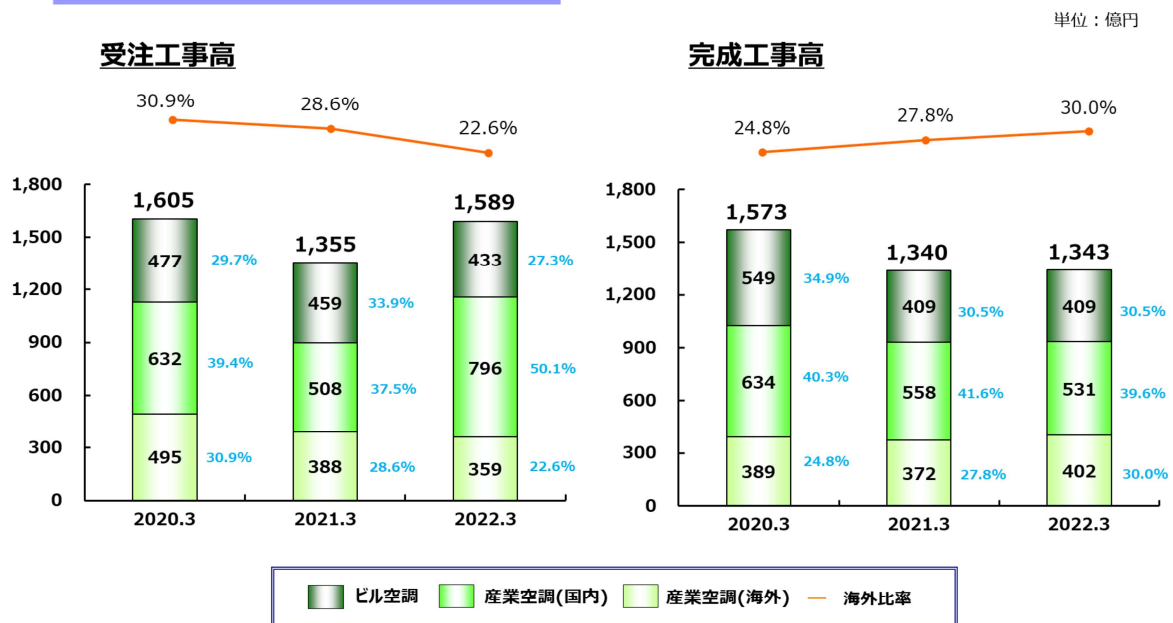
科目	2021.3	2022.3	増減
流動資産	1,653	1,681	28
現金預金	520	490	-29
受取手形・完成工事未収入金	1,014	1,049	35
有価証券	20	30	10
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	24	27	2
その他	80	90	10
貸倒引当金	-6	-7	-0
固定資産	634	599	-34
有形固定資産	101	112	10
のれん	40	39	-1
その他無形固定資産	43	34	-9
投資有価証券	326	296	-30
繰延税金資産	10	5	-5
その他	112	116	4
貸倒引当金	-0	-4	-3
資産合計	2,288	2,281	-6

科目	2021.3	2022.3	増減
流動負債	869	818	-50
支払手形・工事未払金等	520	471	-49
未成工事受入金	142	69	-72
工事損失引当金	4	3	-0
その他	202	274	72
固定負債	156	154	-1
負債合計	1,025	973	-51
純資産	1,263	1,307	44
資本金	64	64	0
資本剰余金	50	50	0
利益剰余金	957	998	41
自己株式	-25	-25	0
その他有価証券評価差額金	142	119	-23
繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
為替換算調整勘定	-2	20	22
退職給付に係る調整累計額	24	19	-4
非支配株主持分	52	60	8
負債純資産合計	2,288	2,281	-6

当頁は、連結の貸借対照表となります。ご参照ください。

2 環境システム事業の業績

1. 受注工事高・完成工事高の推移



当頁からは、環境システム事業の業績についてご説明します。

左のグラフは受注工事高、右のグラフは完成工事高について事業分野別に推移を示しております。

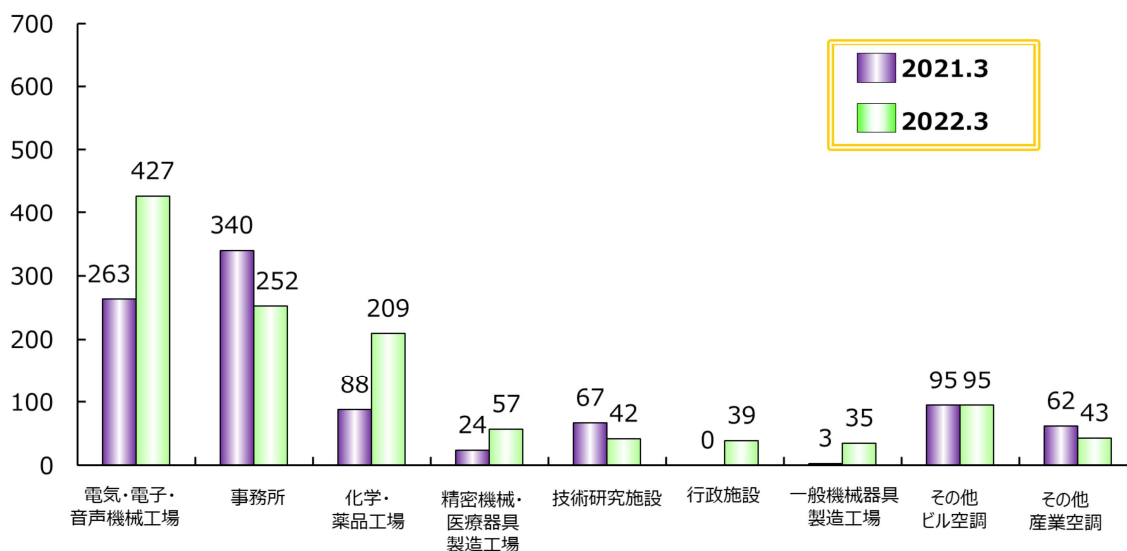
受注工事高は、国内で増加し、海外で減少したことにより、海外比率は低下しました。

完成工事高は、海外で増加し、国内で減少したことにより、海外比率は上昇しました。

2 環境システム事業の業績

2. 市場種別受注状況(個別)

単位：億円



21

Copyright 2022 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、「個別」の市場種別受注状況を示しております。

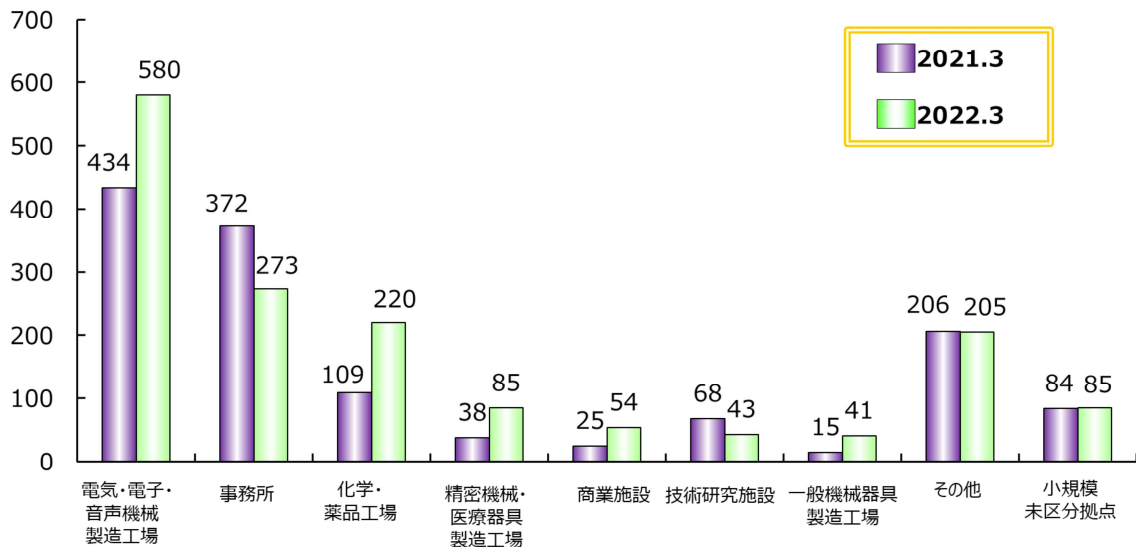
電気・電子分野及び化学・薬品分野の受注は、新規の設備投資が旺盛であることから大幅に増加しました。

一方、事務所については、先ほど申し上げた通り、市場環境は良好なもの、産業空調分野の受注を優先した結果、減少しました。

2 環境システム事業の業績

3. 市場種別受注状況(連結)

単位：億円



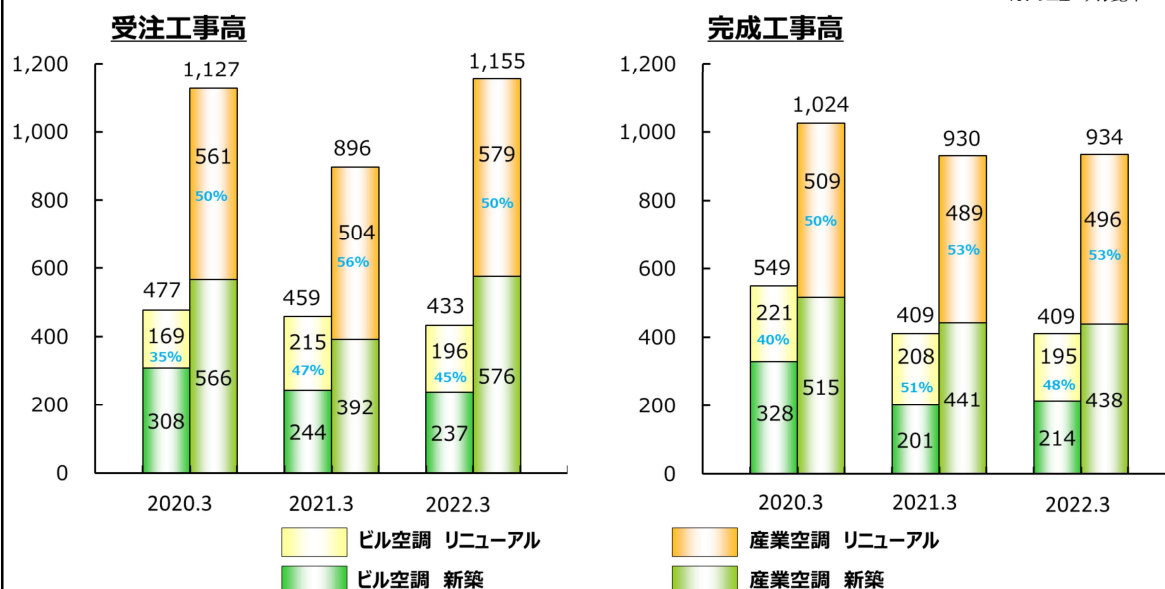
当頁は、環境システム事業の「連結」の市場種別受注状況を示しております。

電気・電子分野及び化学・薬品分野の受注において、「個別」の受注状況で申し上げた通り、国内の設備投資の旺盛さに伴い、増加しました。

2 環境システム事業の業績

4. リニューアル工事の推移(連結)

単位：億円
%：リニューアル比率

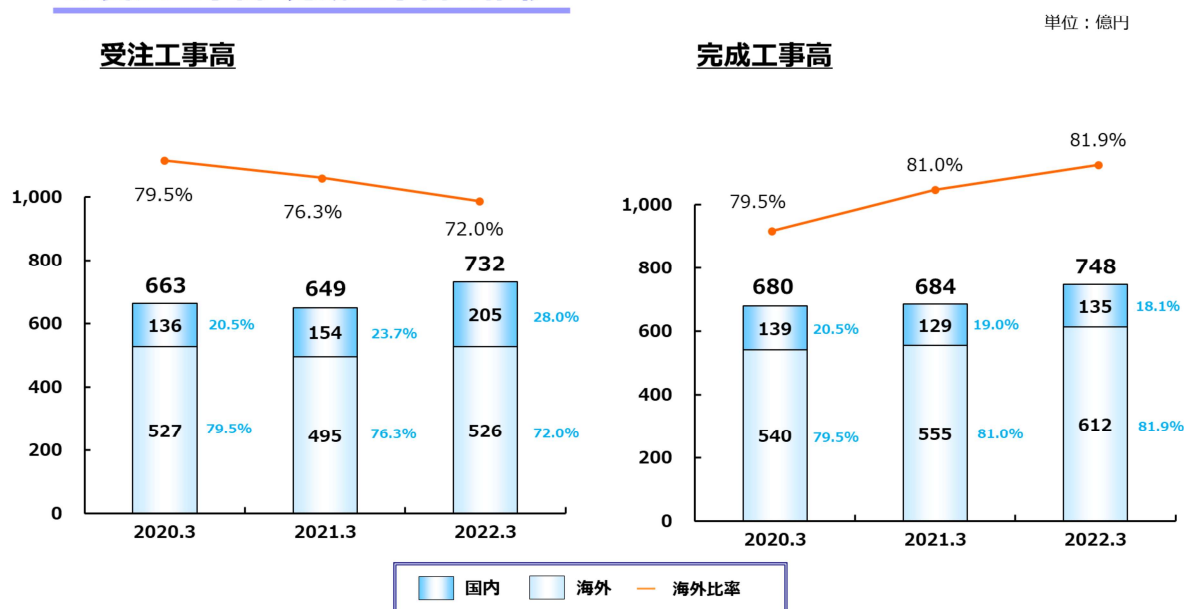


当頁は、リニューアル工事の推移です。

産業空調分野におけるリニューアル工事の受注工事高は、今期は電気・電子メーカーからの大型リニューアル案件の受注により増加しているものの、新築大型案件の増加により、リニューアル比率は低下しました。

3 塗装システム事業の業績

1. 受注工事高・完成工事高の推移



当頁からは、塗装システム事業についての説明となります。

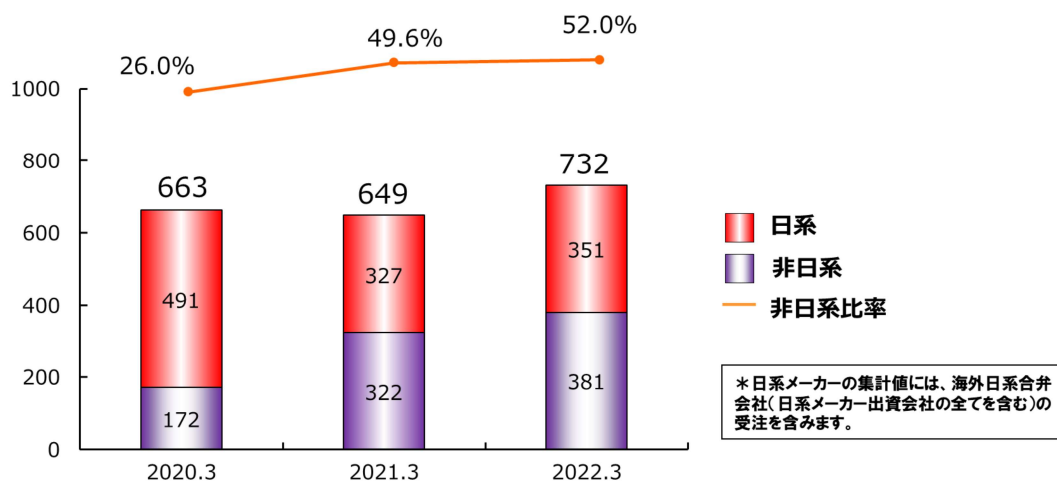
受注工事高については、前期比で国内、海外とも増加しましたが、国内の増加幅が大きく、海外比率は低下しました。

完成工事高については、前期比で国内、海外とも増加しましたが、海外の増加幅が大きく、海外比率は上昇しました。

3 塗装システム事業の業績

2. 非日系メーカー受注工事高比率

単位：億円



当頁は、非日系自動車メーカーからの受注工事高比率を示しております。

今期は、欧州や東南アジアにおいて非日系顧客からの大型案件の受注があったことにより、非日系比率は上昇しました。

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

1. 10億円以上の**受注工事** 全38件 (1,077億円)

10億円以上の件数 (工事・市場種別)				
受注工事高 合計38件 (1,077億円)	国内 652億円	23件	事務所	5件
			行政施設	2件
			文化・娯楽施設	1件
			商業施設	1件
			電気・電子	5件
			化学・薬品	5件
			精密機械・医療器具	1件
			一般機械器具	1件
			技術研究施設	1件
			自動車	1件
	海外 425億円	15件	事務所	1件
			商業施設	1件
			電気・電子	3件
			自動車	10件

当頁からは、計上金額が10億円以上となった、受注・売上・繰越案件についてまとめております。ご参照ください。

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事
2. 10億円以上の完成工事 全30件 (625億円)

10億円以上の件数 (工事・市場種別)				
完成工事高 合計30件 (625億円)	国内 264億円	16件	事務所	4件
			文化・娯楽施設	1件
			宿泊施設	1件
			医療・福祉施設	1件
			商業施設	1件
			技術研究施設	2件
			化学・薬品	2件
			食品・水産	1件
			電気・電子	1件
			一般機械器具	1件
			自動車部品	1件
	海外 361億円	14件	電気・電子	1件
			自動車	11件
			鉄道	1件
			トラック	1件

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事
3. 10億円以上の繰越工事 全46件 (1,262億円)

10億円以上の件数 (工事・市場種別)			繰越工事	内 2022年度 完成予定	
繰越工事高 合計46件 (1,262億円)	国内 828億円	31件	事務所	14件	2件
			行政施設	3件	-
			電気・電子	5件	2件
			化学・薬品	4件	2件
			精密機械・医療器具	1件	-
			技術研究施設	1件	1件
			一般機械器具	1件	1件
			自動車	1件	-
			その他	1件	-
	海外 433億円	15件	事務所	2件	1件
			商業施設	1件	-
			電気・電子	3件	-
			自動車	9件	2件

5 2023年3月期業績予想

事業部別予想値

単位：億円

	2021.3			2022.3			2023.3								
	環境システム	塗装システム	全社	環境システム	塗装システム	全社	環境システム			塗装システム			全社		
							上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)
受注工事高	1,355	649	2,004	1,589	732	2,321	910	690	1,600	223	327	550	1,133	1,017	2,150
完成工事高	1,340	684	2,025	1,343	748	2,092	710	840	1,550	214	361	575	924	1,201	2,125
営業利益	111	9	116	89	5	94	47	58	105	-10	21	11	34	74	108
(同率)	8.3%	1.4%	5.8%	6.7%	0.8%	4.5%	6.6%	6.9%	6.8%	-4.7%	5.8%	1.9%	3.7%	6.2%	5.1%
経常利益	111	9	122	93	6	108	48	60	108	-10	22	12	39	81	120
(同率)	8.3%	1.3%	6.1%	6.9%	0.9%	5.2%	6.8%	7.1%	7.0%	-4.7%	6.1%	2.1%	4.2%	6.7%	5.6%
純利益	-	-	82	-	-	72	-	-	-	-	-	-	24	62	86
(同率)	-	-	4.1%	-	-	3.5%	-	-	-	-	-	-	2.6%	5.2%	4.0%

① 2021年3月期決算為替レート：1USドル=106.68円、1ユーロ=122.01円、1タイバツ=3.42円

② 2022年3月期決算為替レート：1USドル=109.86円、1ユーロ=130.10円、1タイバツ=3.44円

③ 2023年3月期想定為替レート：1USドル=120円、1ユーロ=132円、1タイバツ=3.58円

※2023年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額
 ⇒受注・完工：約10億円、 経常利益：約0.4億円

①と②の為替差による影響 完成工事高：45億円、経常利益：0.7億円

これより2023年3月期の通期業績予想についてご説明します。

当頁は事業部別の予想値です。

想定為替レートにつきましては、スライド下部に記載しております。

また、為替差による影響についても記載しておりますので、合わせてご確認ください。

5 2023年3月期業績予想

受注工事高

単位：億円

	2022.3 実績 A			2023.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注工事高	879	1,441	2,321	1,133	1,017	2,150	253	-424	-171
(うち国内)	(546)	(888)	(1,434)	(686)	(544)	(1,230)	(139)	(△344)	(△204)
(うち海外)	(333)	(553)	(886)	(447)	(473)	(920)	(113)	(△80)	(33)
環境システム事業	614	974	1,589	910	690	1,600	295	-284	10
ビル空調	245	187	433	130	200	330	-115	12	-103
産業空調	368	786	1,155	780	490	1,270	411	-296	114
(うち国内)	(235)	(561)	(796)	(499)	(239)	(738)	(263)	(△322)	(△58)
(うち海外)	(133)	(225)	(359)	(281)	(251)	(532)	(147)	(25)	(172)
塗装システム事業	264	467	732	223	327	550	-41	-140	-182
(うち国内)	(65)	(139)	(205)	(57)	(105)	(162)	(△8)	(△34)	(△43)
(うち海外)	(199)	(327)	(526)	(166)	(222)	(388)	(△33)	(△105)	(△138)

(環境システム事業)

- ビル空調分野の建設需要は、長期的には底堅く推移すると予想。
- 産業空調分野では、国内において電気電子や医薬品メーカーなどによる新規設備投資、海外においては、計画延期となっていた半導体関連をはじめとする新規設備投資が見込まれている。
- 国内市場は活発であるものの、手持ち工事量の増加に伴い、国内受注は減少する見通し。一方、海外では、半導体関連をはじめとした大型案件の受注を見込んでおり、増加する見通し。

(塗装システム事業)

- ウクライナ情勢による欧州メーカーの設備投資への影響があるものの、北米・日本などでは設備更新投資、中国・インドなどでは増産投資が見込まれており、需要は底堅く推移すると見込んでいる。市場は底堅いものの、Geico社の連結除外により、受注は減少する見通し。

30

Copyright 2022 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、受注工事高の事業分野ごとの内訳につきまして示しております。

2023年3月期の受注工事高は、全社では171億円減少し、2,150億円となる見込みです。

市場環境の見通しについてご説明しますと、ビル空調分野の建設需要は、当面緩やかに縮小する可能性があるものの、旧耐震基準のビルの建て替え・リニューアル、再開発等のニーズは存続するため、長期的には底堅く推移すると考えています。

産業空調分野では、国内において電気電子や医薬品メーカーなどによる新規設備投資が引き続き見込まれています。海外においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画延期となっていた半導体関連をはじめとする新規設備投資が見込まれています。

先ほど申し上げた通り、国内市場は活発であるものの、手持ち工事量の増加に伴い、国内受注は減少する見通しです。一方、海外では、半導体関連をはじめとした大型案件の受注を見込んでおり、増加する見通しです。

塗装システム事業では、ウクライナ情勢による欧州メーカーの設備投資への影響があるものの、北米・日本などでは設備更新投資、中国・インドなどでは増産投資が見込まれており、需要は底堅く推移すると見ております。市場は底堅いものの、Geico社の連結除外により、受注は減少する見通しです。

5 2023年3月期業績予想

完成工事高

単位：億円

	2022.3 実績 A			2023.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
完成工事高	924	1,168	2,092	924	1,201	2,125	0	32	32
(うち国内)	(481)	(595)	(1,077)	(553)	(705)	(1,258)	(71)	(109)	(180)
(うち海外)	(442)	(572)	(1,015)	(371)	(496)	(867)	(△71)	(△76)	(△148)
環境システム事業	587	756	1,343	710	840	1,550	122	83	206
ビル空調	198	210	409	178	222	400	-20	11	-9
産業空調	388	545	934	532	618	1,150	143	72	215
(うち国内)	(207)	(324)	(531)	(321)	(367)	(688)	(113)	(42)	(156)
(うち海外)	(180)	(221)	(402)	(211)	(251)	(462)	(30)	(29)	(59)
塗装システム事業	337	411	748	214	361	575	-123	-50	-173
(うち国内)	(75)	(60)	(135)	(54)	(116)	(170)	(△21)	(55)	(34)
(うち海外)	(261)	(351)	(612)	(160)	(245)	(405)	(△101)	(△106)	(△207)

(環境システム事業)

・国内海外の産業空調分野において、大型物件の進捗により増加する見通し。

(塗装システム事業)

・Geico社の連結除外により減少する見通し。

当頁は、完成工事高の事業分野ごとの内訳につきまして示しております。

2023年3月期の完成工事高は全社では32億円増加し、2,125億円となる見込みです。

環境システム事業に関して、国内海外の産業空調分野において、大型物件の進捗により増加する見通しです。

塗装システム事業は、Geico社の連結除外により減少する見通しです。

5 2023年3月期業績予想

利益

単位：億円

	2022.3 実績 A			2023.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	35	72	108	39	81	120	3	8	11
(同率)	3.9%	6.2%	5.2%	4.2%	6.7%	5.6%	0.4%	0.5%	0.5%
環境システム事業	33	59	93	48	60	108	14	0	14
(同率)	5.7%	7.9%	6.9%	6.8%	7.1%	7.0%	1.0%	-0.7%	0.0%
塗装システム事業	-4	10	6	-10	22	12	-5	11	5
(同率)	-1.2%	2.6%	0.9%	-4.7%	6.1%	2.1%	-3.5%	3.5%	1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16	55	72	24	62	86	7	6	13
(同率)	1.8%	4.8%	3.5%	2.6%	5.2%	4.0%	0.8%	0.4%	0.6%

【経常利益】

(環境システム事業)

産業空調分野の完成工事高増により、増益となる見通し。

(塗装システム事業)

前期の欧州プロジェクトの採算性悪化影響の剥落により、増益となる見通し。

当頁は、**経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益**につきまして示しております。

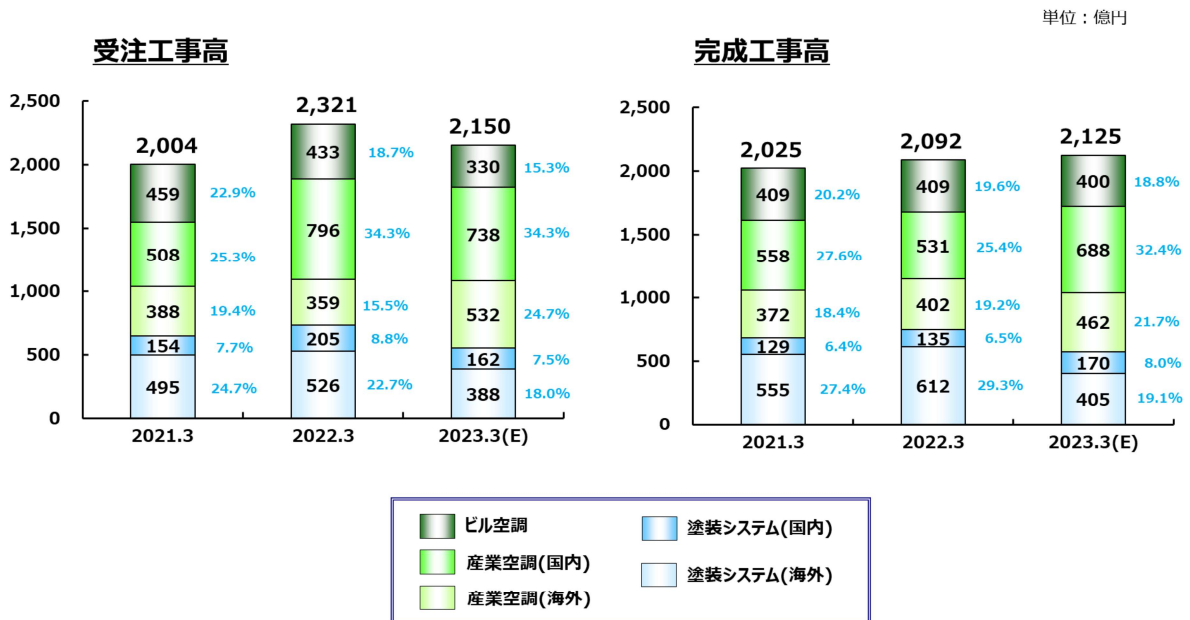
経常利益は、全社では11億円増加し、120億円となる見込みです。

環境システム事業は、産業空調分野の完成工事高増により、増益となる見通しです。

塗装システム事業では、前期の欧州プロジェクトの採算性悪化影響の剥落により、増益となる見通しです。

5 2023年3月期業績予想

事業別予想値

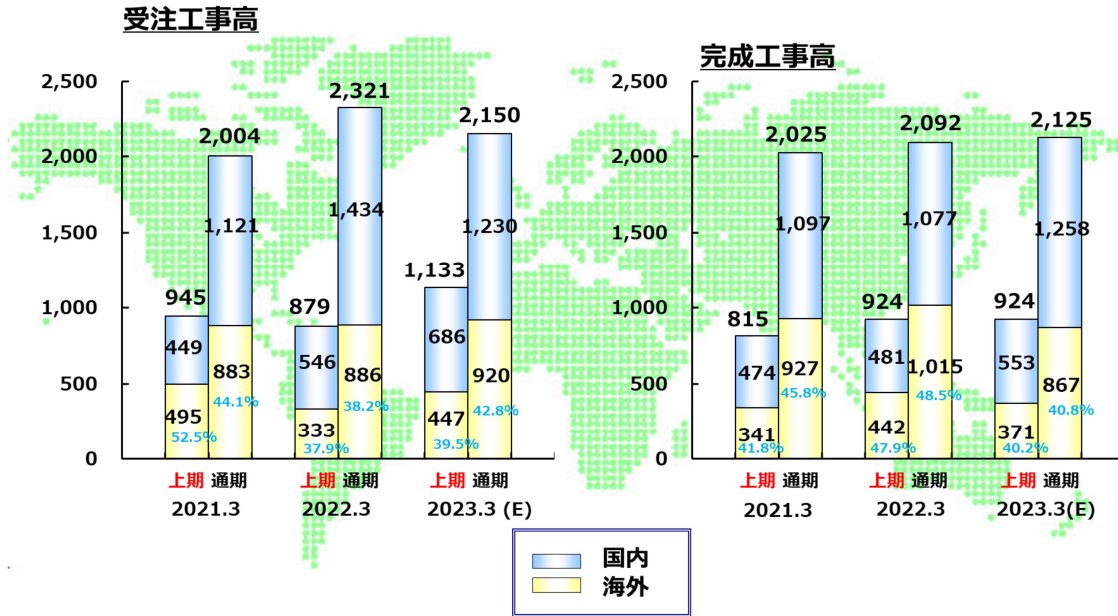


33ページから36ページは、全社および各事業における受注工事高、完成工事高の業績予想をお示ししておりますので、ご参照ください。

5 2023年3月期業績予想

全社（国内／海外別）

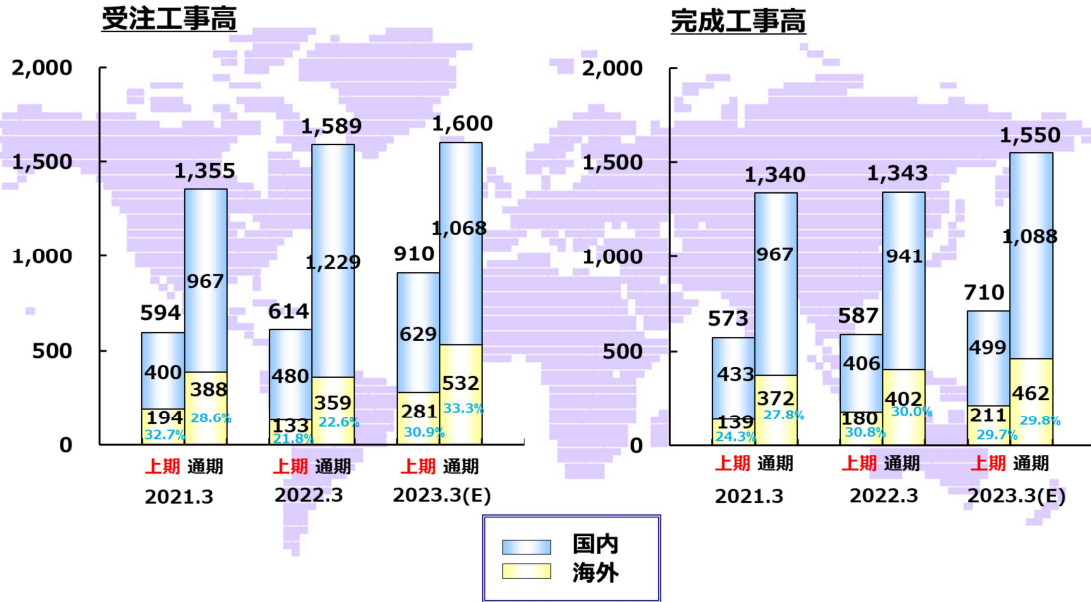
(単位:億円)
(%:海外比率)



5 2023年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

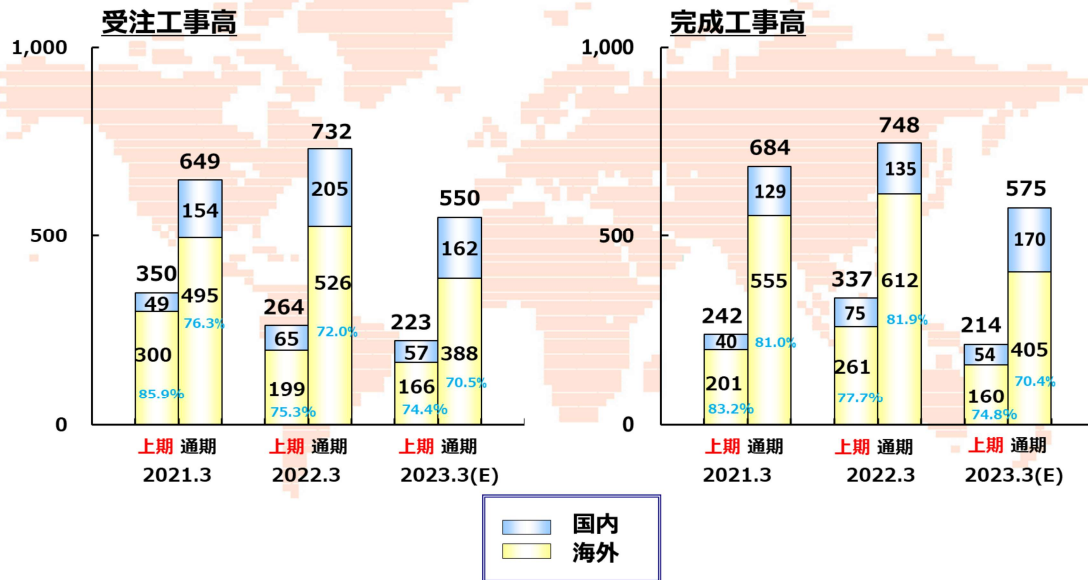
(単位:億円)
(%: 海外比率)



5 2023年3月期業績予想

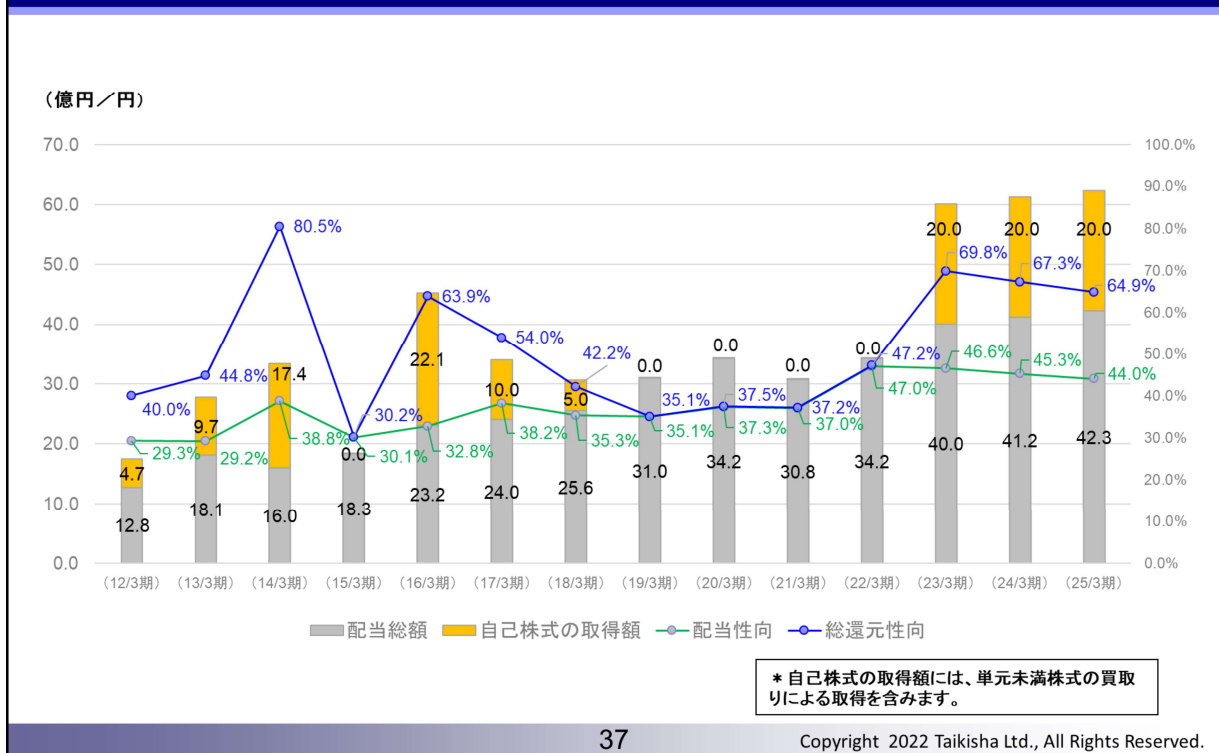
塗装システム事業（国内／海外別）

(単位:億円)
(%:海外比率)



業績予想に関しましては、以上です。

6 (参考) 株主還元額と総還元性向の推移



最後に、ご参考として株主還元額と総還元性向の推移を載せておりますので、ご参照ください。

本日のご説明は以上です。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 経営企画本部 経営企画部 IR課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195